



2月と言えば節分ですね。皆さんは恵方巻きの由来はご存知ですか。もともとは関西に江戸時代からあった風習ですが、1989年に某コンビニエンスチェーンが広島で太巻きを売り出す時に、「恵方巻き」と名付けて販売したのが、全国に広まったという説があるそうです。割と最近のことで驚きですよ。



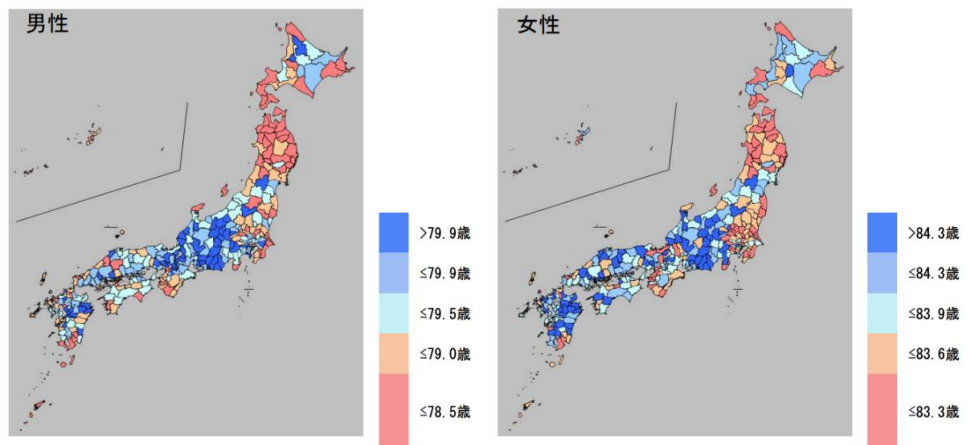
健康寿命の延長



さくらのクリニック歯科・口腔外科の藤田医師より「健康寿命の延長」というテーマで、お話をさせていただきます。



図1. 二次医療圏単位でみた健康寿命の分布

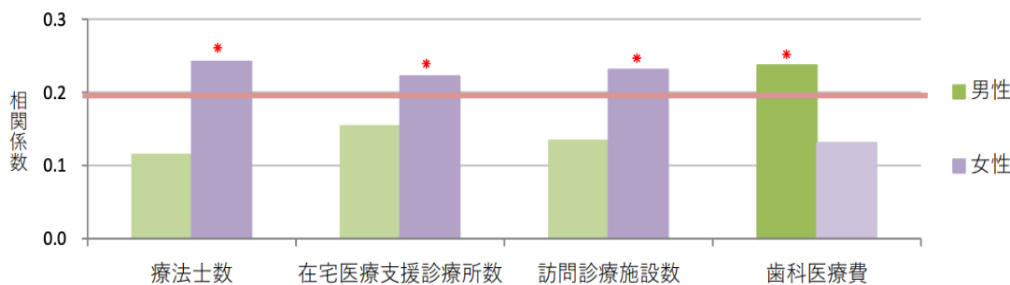


※ 5段階で色分けしており、青い医療圏ほど健康寿命が長く、赤い医療圏ほど健康寿命が短いことを示しています。

日本は、世界で一番の長寿国です。これからの課題は、健康寿命の延長です。先日、京都大学の研究で全国の健康寿命には、女性では療法士(理学、作業、言語)の数、在宅医療支援診療所数、訪問診療施設数が、男性では、歯科医療費が多い場所で健康寿命が長い傾向があることがわかりました。

これは、健康寿命の延長には医療を受けやすい環境があることが大切でさらに歯科医療が健康寿命の延長に大きく関わっていることを示しています。

図2. 二次医療圏の医療資源と健康寿命との関連



*上の図は、療法士数や診療所数、訪問施設数と健康寿命の関係が女性で高く、歯科医療費は男性の健康寿命に影響していることを示しています。歯科では、健康寿命の延長のため8020運動を推進し、目標の80歳で20本以上歯牙が残る方が50%以上を達成しました。仮に20本以上残ってなくても入れ歯で補うことは可能です。噛むことは、虫歯や歯周病を減らし、筋力の低下を防ぎ、認知症の予防、転倒リスクを減少させ、また消化を助け肥満を防ぎます。これからの健康寿命の延長にはオーラルフレイルの改善が目標となり、歯科医院は、「歯が痛くなったら行くところ」ではなく、「口の健康を保つために定期的に受診するところ」となっていくます。

さくら会では、多くの療法士の方々によるリハビリや歯科医師、歯科衛生士による歯科診療を行っています。この機会に私達とともに健康寿命を伸ばしてみませんか。

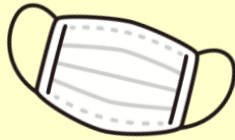
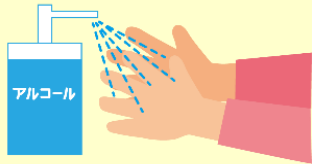
さくらのクリニック歯科・口腔外科
☎0285-37-1161(直通)

引き続き

感染症対策の徹底を！



1/27(木)~2/20(日)の期間、栃木県全域にまん延防止等重点措置が発令されました。これまでと同様に、手洗い、手指消毒、マスク着用、三密回避など、感染症対策の徹底をお願いします。体調に異変を感じた時は、自己判断せず早めに医療機関を受診して下さい。



お体に関するお悩み等がございましたら、お気軽にご相談下さい。
さくらのクリニック : ☎0285-37-1221



通所部門

2022年 冬の最新作



今月も素敵な作品をありがとうございました。

さくら野では長期入所、通所リハビリテーションを行っております。ご利用になりたい、どんな施設なのか知りたいなど興味のある方がいましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。ご相談は随時おこなっておりますが、お待たせしてしまうことがございますので、事前にご連絡下さい。

ご利用・ご相談・ご見学に関するお問い合わせ : ☎0285-37-1110 担当:三村・玉田



医療法人 さくら会

〒323-0061 栃木県小山市大字卒島110

TEL:0285-37-1221 FAX:0285-37-1640

<http://www.sakura-ac.com>

施設利用に関するお問い合わせ : 0285-37-1110 担当 三村・玉田

採用に関するお問い合わせ : 0285-37-1221 担当 唐沢・中山(浩)

